



進路だより

五所川原第一高等学校

進路指導部

令和8年5月29日発行

第2号

◆第1回学習状況調査実施 (令和8年5月22日実施)

学習と進路を結びつけ、普段の授業や学習が生徒の将来につながることを意識させるとともに、生徒の主体的な進路選択を促すことを目的として今年度新たに本調査を実施しました。

◆調査結果まとめ (令和8年5月27日現在)

○回答率

送信対象 216名 回答人数 204名 回答率 94.4%

○アンケート回答

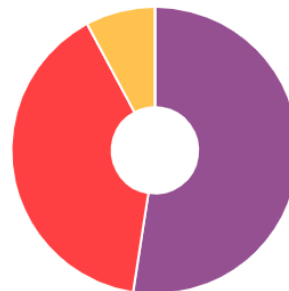
勉強中です



質問1※

1. 学習習慣・生活に関する質問 家庭での学習実態やデジタル機器の使い方を把握します。①家庭学習の時間：平日および休日に、学校の宿題以外でどのくらい勉強していますか？

全く勉強していない	107名
1時間以内	81名
1時間以上	16名
未回答	0名



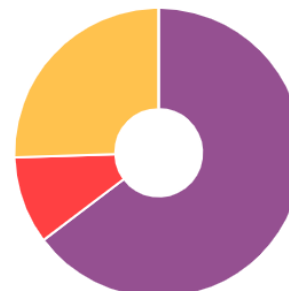
■ 全く勉強していない ■ 1時間以内 ■ 1時間以上 ■ 未回答

- ・「全く勉強していない」が多数派
- ・学年による差は僅少

質問2※

②学習環境：自宅で集中して勉強できる場所や時間はありますか？

ある	132名
ない	20名
どちらともいえない	52名
未回答	0名



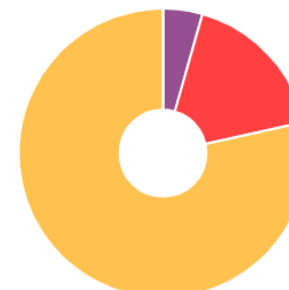
■ ある ■ ない ■ どちらともいえない ■ 未回答

- ・環境自体は「ある」が半数以上
- ・勉強場所はあるものの、実際の学習時間には結びついていない

質問3※

③スマホ・SNSの利用：学習以外でスマートフォンやSNSを利用する時間は1日平均どのくらいですか？

1時間以内	9名
1時間～2時間	35名
2時間以上	160名
未回答	0名



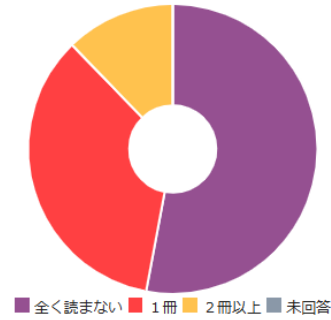
■ 1時間以内 ■ 1時間～2時間 ■ 2時間以上 ■ 未回答

- ・「2時間以上」が圧倒的
- ・スマホ利用の長さが、家庭学習時間の低迷に直結している可能性が高い

質問4※

④読書習慣：学校の教科書、漫画本以外で、月に何冊程度の本を読みますか？

全く読まない	108名
1冊	71名
2冊以上	25名
未回答	0名

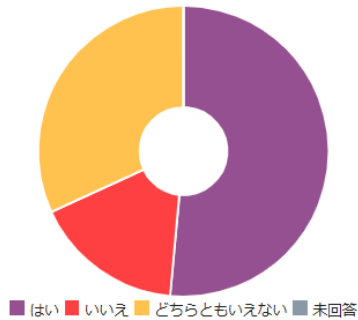


・「全く読まない」が半数以上

質問5※

2. 授業への取り組み・理解度に関する質問「主体的・対話的で深い学び」が実現できているかを確認します。⑤授業への積極性：授業中、疑問に思ったことを自分で調べたり、先生や友人に質問したりしていますか？

はい	105名
いいえ	34名
どちらともいえない	65名
未回答	0名

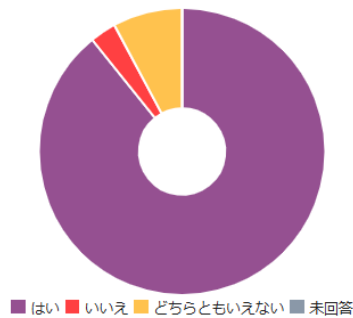


・質問や調査への積極性は分かれる

質問6※

⑥ICTの活用：授業でのタブレットやPC、スマートフォン等の情報機器の活用は、自分の理解を深めるのに役立っていますか？

はい	182名
いいえ	6名
どちらともいえない	16名
未回答	0名

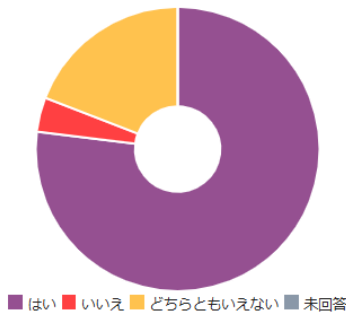


・ICTの理解促進効果は高評価

質問7※

⑦協働学習：グループ活動や発表の機会を通じて、他者の意見を取り入れながら考えを深められていますか？

はい	157名
いいえ	8名
どちらともいえない	39名
未回答	0名

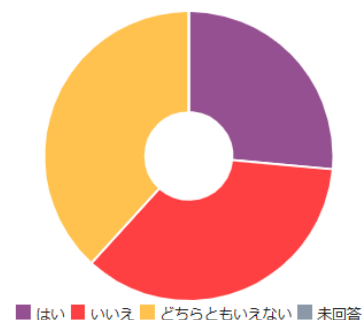


・他者との協働には肯定的

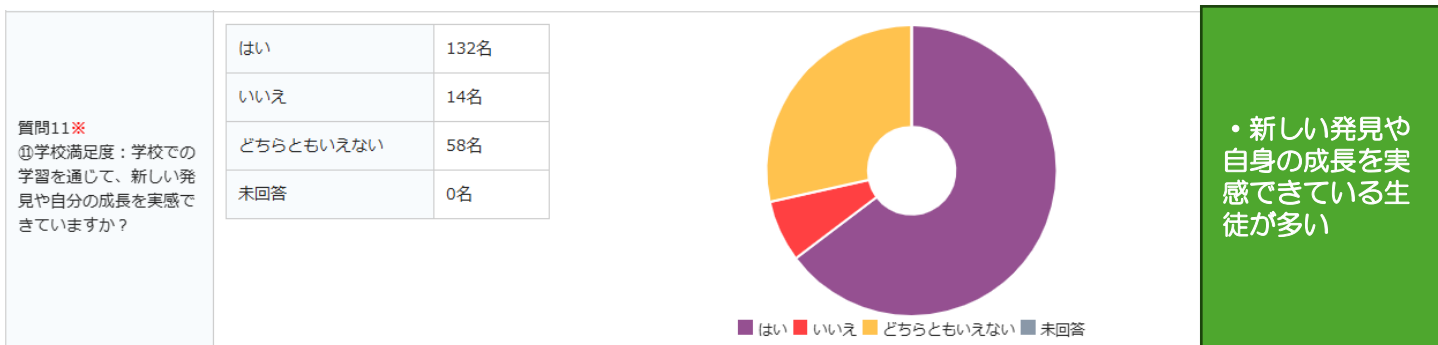
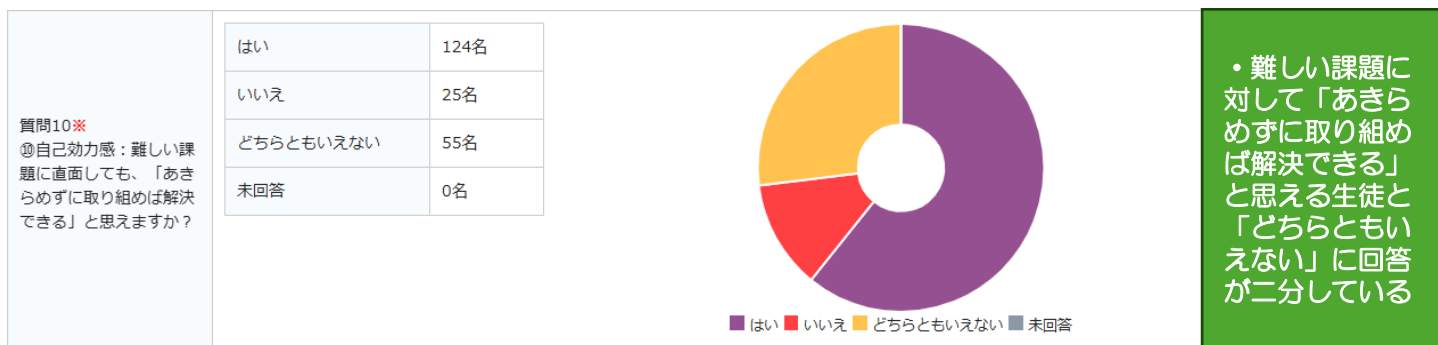
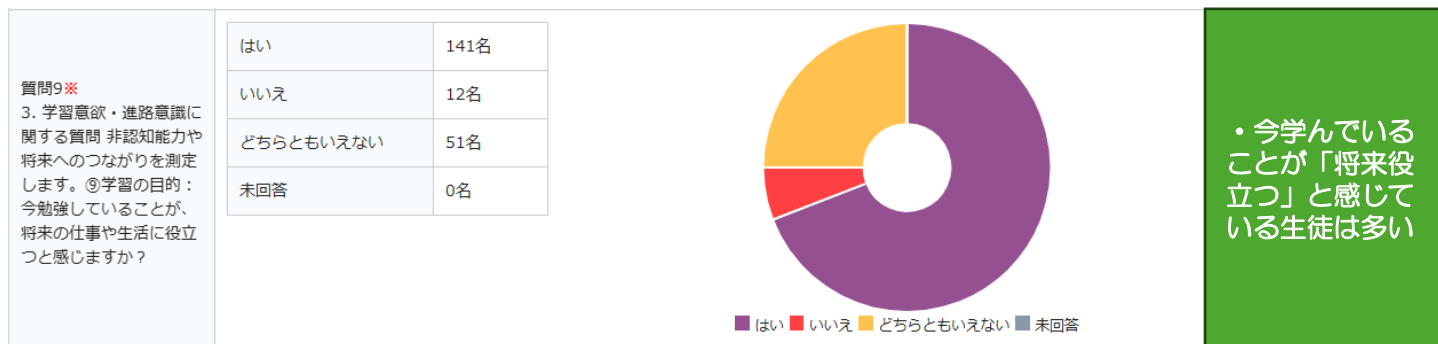
質問8※

⑧振り返りの習慣：授業の終わりに、その日の学習内容や自分の課題を振り返る時間を設けていますか？

はい	54名
いいえ	72名
どちらともいえない	78名
未回答	0名



・振り返り時間の不足



質問12 「もっと詳しく学びたい、または興味がある話題やテーマ等があれば記入してください(進路や学習に関すること)」

- ・社会問題やAIへの関心：空き店舗活用、AIロボット、ジェンダー多様性、効率的な勉強法などへの興味が見られる
- ・具体的な進路や職業：看護、就職関連、日本史、大学入試、SPIの対策などを深く知りたいという要望がある

質問13 「学習を進めたり、進路を考えたりする上で、現在困っていることや不安なこと等があれば記入してください」

- ・進路や将来の不透明さ：「やりたい仕事が見つからない」「このままで大学に合格できるか不安」という声が多い
- ・学習面での心理的ハードル：「勉強の仕方がわからない」「いくらやっても点数が伸びない」「授業の私語が多くて集中できない」といった授業環境や学習方法への不満・焦りが見られます
- ・経済面や環境の不安：進路にかかる金銭的な不安や、通学の継続など

※ 第2回学習状況調査は11月を予定しています